

# 牧之原市を

# 彩る春の花

**今**年も桜やツツジ、長藤など、春の花が市内を華やかに彩りました。

**桜**の名所として有名な勝間田川や小堤山、相良油田の里公園などでは、4月中旬に桜が満開となりました。

勝間田川堤の桜は、昭和31年に旧・橋原町の合併記念と桜の名所になることを願って植えられたものです。川の兩岸に約600本ものソメイヨシノがトンネルを作り出し、夜間にはライトアップも行われ、勝間田川が幻想的に彩られました。

**勝間田公園**に群生する「ミヤマツツジ（学名Ⅱコバノミツハツツジ）」は4月中旬ごろから下旬にかけて見ごろを迎え、赤紫色のきれいな花が咲き誇りました。

このツツジは、九州から中部地方まで分布し、勝間田公園の群生地は分布の限界に位置していることから、昭和54年11月19日に県の天然記念物に指定されました。

**東光寺（静波区）**では、4月下旬から5月上旬にかけて長藤が見ごろを迎えました。

この長藤は、大正4年に磐田市の行興寺から「熊野の長藤」の一枝を譲り受け育てられたもので、20メートル四方の藤棚から1メートル以上もある花房が垂れ下がり、美しい紫色の花の甘い香りが周辺を包み込みました。

相良油田の里公園



勝間田川堤



小堤山公園



静岡県指定天然記念物  
勝間田公園のミヤマツツジ



東光寺の長藤

